

各校、園の実情に応じて

下校や通学路の指定

最近の交通事情は急激に変化し閑静な住宅地であつた呉屋市も、芦有道路の開通や第二阪神国道の完成も近い。今日、これらの交通量は日に日に急増して、非常に危険な状態にさらされてしまつた。子供もおとなも、いわば交通事故のまつだなかにおかれているともいえます。

市教委では、この交通事故から児童を守る対策として各幼稚園、小学校に安全通学道路の指定

・通学園時刻の設定
・集団登下校の奨励
・幼小、中学校の連絡調整
・教職員の現場指導
・特別教育活動での交通指導
・PTAの協力

などを要請しました。また、市ははじめ、警察、工事現場、建設省等の理解と援助を得、安全対策としての施設が早急に実現される

よう努力しています。そのほか、交通安全教育についていろいろ協議し、学童の安全通学のため万全を期しています。

それぞれの校園でも、その地域の実情に合った安全策を研究実践中です。保護者の方にかぎらず一般の方々もこれの徹底に格別のご協力をお願いします。

△幼稚園

特に幼い生命をあずかっている幼稚園だけに、慎重な配慮と対策を講じています。



集団で通学する精道小学校のよ
い子たち

母子福祉年金にも年金

母子福祉年金の制限も緩和

解説

第二国

道の横断施設

に37年度成

立派な

歩道

車道

中央分離帯

5車線

5車線

オーバード

オーバーパ

リッジ

横断

歩道

車道

